

授業科目名	【G】歴史学概論 【H】歴史学概論	区分 その他参照	開講年次 【G】1 【H】1	単位数 【G】2 【H】2
科目区分	基本科目:【G・H】教科及び教科の指導法に関する科目(中社・地歴・――)			
授業形態	対面授業			
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための（中社選択・地歴選択・――）科目 【H】教員の免許状取得のための（中社選択・地歴選択・――）科目		
施行規則に定める科目区分又は事項等			教科に関する専門的事項:「日本史・外国史」(中一種免社会) 「日本史」(高一種免地歴)	
サブタイトル	歴史学とはどのような学問か		担当者 田中 秀典	
授業概要	概要 】	歴史学とはどのような学問なのか、ということについて講義する。学問であるというからには、覚える、暗記するということに主眼があるわけではない。では、高等学校まで学んできた歴史とはどのように異なるのだろうか。ここでは、歴史学の方法論、用いられる史料などについて解説する。また、歴史学がどのように形成、展開してきたのかということ、つまり史学史について概観する。さらに、大きな枠組みを中心として、具体的に叙述されてきた歴史について紹介し、今後の学習のための指針を示すとともに、歴史学をとりまく現代的な課題についても触れる。なお、調整がつけば、史料を扱っている専門家をゲストスピーカーとして招き、史料を扱う現場の生の声を紹介する場を設けることができればと考えている。		
	到達目標 】	歴史学とはどのようなものか、ということが説明できるようになる。		
履修条件	特になし。			
アクティブラーニングの方法	【－】 事前学習型 【－】 双方向アンケート 【－】 プレゼンテーション	【－】 反転授業 【－】 グループワーク 【－】 模擬授業	【－】 調査学習 【○】 対話・議論型授業 【－】 PBL	【－】 フィールドワーク 【－】 ロールプレイ 【－】 その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)① DP(ディプロマ・ポリシー)② DP(ディプロマ・ポリシー)③ DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない) ◎ (よく当てはまる)	－ (当てはまらない) ◎ (よく当てはまる)	
他科目との関連性	特になし。			
教科書	適宜資料を配布する。			
参考書	適宜紹介する。			
評価方法	毎回の授業内での小レポート等【30%】・授業最終回に実施する学習到達度の確認【70%】で評価する。			
フィードバック方法	提出された小レポート等に対してコメントする。			
評価基準	下記授業単元の内容について理解し、それを適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」評価とする。理解や表現に不適切な点のある者にはその程度に応じて「B」または「C」とし、理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。試験欠席など、評価不能の場合は「F」とする			

授業 科目名	【G】歴史学概論 【H】歴史学概論	区分 その他参照	開講年次 【G】1 【H】1	【G】1	単位数 【H】2
				【G】2 【H】2	
授業回数	授業内容				
1	ガイダンス、歴史とは何か、歴史と歴史学 予習： シラバスを確認する。(2時間)	復習： 高等学校までに学んだ歴史はどのようなものだったか整理する。(2時間)			
2	歴史学のエッセンス① 歴史学の方法 歴史学の研究とはどのようなものか 予習： 近年の歴史学の研究成果にどのようなものがあるか調べる。(2時間) 復習： 歴史学の研究方法について整理する。(2時間)				
3	歴史学のエッセンス② 史料論 史料とは、史料批判、偽文書、非文字資料について 予習： 史料とはどのようなものか調べる。(2時間)	復習： 史料の特性について整理する。(2時間)			
4	歴史学のエッセンス③ 史料の資料化 史料の調査、整理、保存、活用、保全 予習： 資料化とはどういうことか調べる。(2時間)	復習： 資料化の方法について整理する。(2時間)			
5	歴史学のエッセンス④ 歴史学と隣接分野 歴史学と諸学問分野とのかかわり 歴史学と考古学、文学、民俗学など 予習： 考古学、文学、民俗学とはどのような学問か調べる。(2時間)	復習： 歴史学と隣接分野の学問方法の異同について整理する。(2時間)			
6	歴史学のエッセンス⑤ 西洋における歴史学 歴史の叙述のはじまり、近代歴史学、現代歴史学 予習： 古代ギリシャの文化について整理する。(2時間)	復習： 歴史を叙述するということについて考察する。(2時間)			
7	東アジア的歴史認識① 東アジア的世界観と歴史叙述、司馬遷、正史、暦、儒教 予習： 古代中国の文化について整理する。(2時間)	復習： 歴史に対する東西の考え方の違いついて考察する。(2時間)			
8	東アジア的歴史認識② 中国・朝鮮における古代・中世の叙述 予習： 東アジアにおける王朝の興亡について確認する(2時間)	復習： 中国大陸における王朝興亡の影響について整理する。(2時間)			
9	東アジア的歴史認識③ 中国・朝鮮における近世・近現代の叙述 予習： 東アジアにおける近代化について確認する。(2時間)	復習： 中国大陸における近代化の影響について整理する。(2時間)			
10	歴史学と法学① 法学部で歴史学を学ぶことの意味 予習： 日本における歴史の叙述のはじまりについて確認する。(2時間)	復習： 法を歴史的な視点から考えることの意味について考察する。(2時間)			
11	歴史学と法学② 古代日本の社会と法 予習： 日本の律令について確認する。(2時間)	復習： 律令国家の変質について整理する。(2時間)			
12	歴史学と法学③ 中世日本の社会と法 予習： 武士の発生とその性格について確認する。(2時間)	復習： 武家政権と武家法の性格について整理する。(2時間)			
13	歴史学と法学④ 近世日本の社会と法 予習： ルネサンス・大航海・宗教改革について確認する。(2時間)	復習： ヨーロッパ文化の日本への影響について整理する。(2時間)			
14	歴史学と法学⑤ 近現代日本の社会と法 予習： 日本における近代化について確認する。(2時間)	復習： 日本における近代化の影響について整理する。(2時間)			
15	歴史学と歴史教育、現代的課題、総括、学習到達度の確認 予習： これまでの講義内容をふりかえる。(2時間)	復習： 現代的課題について考察する。(2時間)			
その他	「予習・復習」で示したポイントを参考にしつつ、積極的な姿勢で学んでほしい。 ※G・Hカリ:【選択必履修(ウ)】				